

教育のひろば

No.4

完全学校週5日制についてのアンケート結果

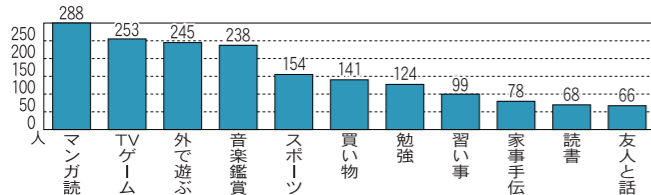
昨年4月から実施され半年が過ぎ、子ども達の過ごし方に落ちつきが見られるようになりまし。そこで、子どもたちがどのような過ごし方をしているのか調査しました。

調査期間 平成14年10月23日～11月15日
 調査対象 市内各小学校4・6年生、各中学校2年生とその保護者
 対象者数 小学校817名、中学校452名
 回収率 小学校78.8%、中学校59.9%

小学校の児童へのアンケート調査から

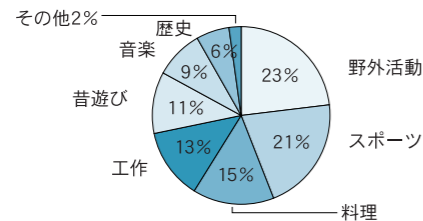
設問1 土・日曜日の過ごし方について（複数回答）

- ・おもに過ごした場所はどこですか？
『自宅』が554人、『友人の家』が223人と続き、大半は家からあまり出ていないようです。
- ・おもに何をしていましたか？



『マンガ読み』・『TVゲーム』・『外で遊ぶ』と続きます。『外で遊ぶ』は、おもに自宅や友人の家などで過ごしても「外でも遊んだ」という意識がより強かったからだと思います。

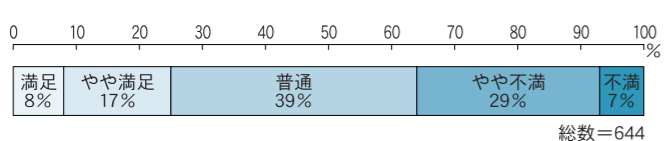
設問2 どんな事業があったら参加したいと思いますか？（複数回答）



『野外活動』と『スポーツ』を合わせると44%になり、体験学習（体を動かす）に特に興味を示していると推測されます。このことは、各種事業（行事）などを開催する際の参考になると考えられます。

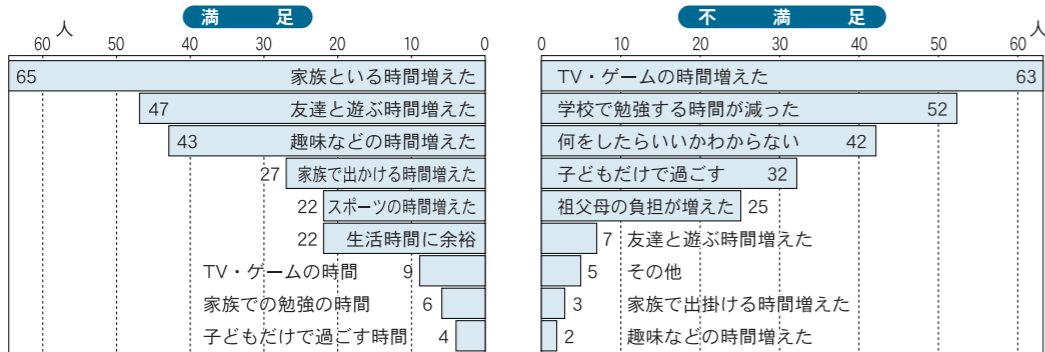
小学生の保護者へのアンケート調査から

設問1 お子さんの土・日曜日の過ごし方をどう思いますか？



『満足』と『不満』を比べると、若干『不満』の方が多く見受けられますが、『普通』を満足に含めるとすると、過半数の方がほぼ満足なのではないかと思われます。

設問2 どのようなことが満足・不満だと思えますか？（複数回答）



【満足】では、『家族といる時間』・『友達と遊ぶ時間』などが増えたことがあげられています。【不満】では、『TV・ゲームの時間が増えた』・『学校で勉強する時間が減った』と続きます。保護者の満足・不満足のとらえ方はさまざまです。

齋川小学校の紹介

概要

本校は、東北新幹線白石蔵王駅から南に約5kmのところの位置し、東西を山地に囲まれ、北部に白石の市街地が広がっていく農村地帯である。
 鎌倉時代の佐藤継信・忠信の妻二人の木像が安置されている甲冑堂や江戸時代に子供の疳の虫に効くとして評判になった「孫太郎蟲」など歴史的な遺産が多く残されている。



「ころ柿作り」より

校木 多行松
 校花 白藤



所在地 白石市齋川字町尻南1-1
 TEL 25-2704
 FAX 25-2844
 校長 (第31代) 森 美代子
 児童数 71人 職員数 11人
 学級数 6学級 P会数 59人

教育目標

たくましい心と体・学ぶ意欲をもつ、心豊かな児童を育てる。

めざす児童像

仲よく思いやりのある子ども

進んで学びよく考える子ども

体をきたえたくましい子ども

特色ある活動

「ころ柿作り」11月実施 <3・4年>



「しめ縄作り」12月実施 <5・6年>



「だんごさし」1月実施 <1・2年>



地域（齋川公民館（高砂会・ボランティア友の会など））と学校との融合を目指した活動です

（14年度のその他の活動）
 ・平成14年度から「学校と地域の合同運動会」の実施
 ・年2回のクリーン活動（4号線駐車場のごみ拾い・花の植え付けなど、学校周辺のごみ拾い）
 （学校に対する地域の方々の思いやり）市当局：通学路安全確保のため、早急の側溝蓋工事の実現